

植いき新聞



植物いきいきサークル

第53号

発行者: 川端、菅原、
村田、孫崎、古新

花吹雪肩にかかりてうれしけり



**利用者様の俳句に☆感想文☆を書きました。早く春がこないかなーと。
(本日、猛吹雪の外を眺めながら)**



※作品(俳句)の掲載は、ご本人様に許可を頂いています。
※写真は Microsoft のクリップアートです。

まだ寒い日もありますが、少しずつ春が近づいています。そんな暖かい春を想像しながら読んだ一句でしようか。早く暖かくならないかな、きれいな桜を見てみたいといった思いが伝わってきます。季節の変わり目の強い風が吹く中で舞い上がる花びら。動きのある大きな描写の中で、「(花びらが自分の)肩にかかりて」と焦点が自分に向けられます。肩に「落ちた」ではなく「かかりて」と動作を含む語からは、時間を区切ることなく次々と降ってくる花びらに心が動かされていることが想像されます。この気持ちは「うれしけり」と直接的な言葉で表され、この気持ちが周りの人にも伝播していきそう。春から初夏へ。季節が切れ目なく移ろう様子が見事に表現されています。

まだ季節はやっと春が見えてきた頃。昨日、今日は時折吹雪いていました。それでも少しずつ途切れなく春が近づいているということを気づかせてくれる一句です。